

大きく、肉コーナーだけで17歩分もありました。ほかにもたくさんのお話を学ぶことができました。サマーキャンプは私の一生の思い出になりました。

小野中2年 輪違 勇輝

▽ホストファミリーと(前列中央)



△グレンロック町警察署でパトカーに乗車

ぼくがアメリカで学んできたことは、ホームステイ、アメリカの生活、そしてグレンロック町のことなどたくさんあります。特に印象に残ったことは、グレンロックの図書館に入ったとたんにアメリカの子に声を掛けられ、とても積極的なあと驚いたことです。

次に、キャンプ場では、諦めない心と何でもチャレンジする心が身に付いたと思います。キャンプ場では、水上スキー、乗馬、マウンテンバイク、空中ブランコなどを体験しました。印象に残ったことは、キャンプの中でぼくたちが寝ていた時、キャンプの子どもたちが気を遣って静かにしてくれたことや、気さくに話し掛けてくれたことです。

小野中2年 吉田 麻友



△初めてホストファミリーと対面。ドキドキ(前列左から2番目)

▽これからボンバーボート体験。またまたドキドキ



私は、アメリカの文化を知る、英語を積極的に話すという目標を立てました。文化

を知るという点については、ホームステイやキャンプ場の生活で、日本との生活スタイルに違った部分があるということが分かりました。また生活習慣だけでなく、人にも違いがありました。アメリカの子どもたちはみんな明るく積極的です。見習いたいと思います。英語を話すという点では、ジェスチャーをしながらも何とか話すことができ、コミュニケーションをとることができました。これからは、何事にも挑戦し、サマーキャンプで得たことを生かして生活したいと思っています。

浮金中2年 長谷川勇太

アメリカでの生活は、本当に意味のある10日間でした。グレンロックでは「伝える大切さ」について学びました。最初は言葉が異なればアメリカの人には伝わらないと思ひ込んでいました。しかしホストファミリーと生活していくうちに、言葉は違ってても、伝えたいという気持ちがあれば伝わるのだということを実感しました。キャンプ場では、小さい子

が話し掛けてくれました。その時、ここでは話の苦手な自分を捨てなければいけないと思いました。またキャンプ場では学校のように決まりがあり、小さい子でも同じようにやっていることに驚きました。自分もアメリカの子には負けては行かないと思いました。

▽トラピース(空中ブランコ)で空へ!



△グレンロック町消防署で消防士に!(左)

浮金中2年 藤井 雄大

ぼくは、アメリカに行ってきた皆さんの思い出と色々なことを学んで帰ってくるのができました。その中でも強く残っていることが二つあります。

一つ目は、ホームステイしたハルパートさん一家です。会う前は、少し他人行儀に接してくるのかなと思っていました。しかし、みんな優しく本家の家族のように優しく接してくれました。とつてもうれしかったです。

二つ目は、キャンプ場の生活についてです。キャンプ場では時間がきっちり決められていて、日本でやったことのない体験がたくさんできました。日本に帰っても大きな達成感を感じ、とてもいい勉強になったと思いました。

▽グレンロック町警察署の1日署長?



△キャンプ場のキャビンで仲間たちとゲームを楽しむ(右手前)